

## 平成 30 年度 事業報告

公益財団法人 内視鏡医学研究振興財団

平成 30 年度における当財団法人が実施した事業概要は下記の表のとおりである。

主たる事業の研究助成は、応募数で研究助成 (A/B) は 104 件と、5 年連続で 100 件を超え、また多施設共同研究助成は過去最多の 16 件となる中、「研究助成」40 件、「多施設共同研究助成」は新規 2 件、継続 4 件と総数で 46 件を助成した。この結果の採択率は研究助成 38%、多施設共同研究助成(新規)13%となった。「顕彰」は 4 件、全国的な規模のライブセミナーに対して行う「研究会助成」は 8 件に助成を実施し、何れも計画どおりの助成となった。一方、海外関連助成事業では 「海外短期留学助成」は計画通り 4 件の実績となったが、「海外研究医受入助成」において来日中止が 1 件発生し 24 件の実績、また「海外派遣助成」は辞退も発生するなど 4 件減少し 19 件・480 万円と計画 35 件・700 万円には大きく未達となった。

以上、当年度も計画に基づく慎重な運営を行い、計画 5,410 万円に対し合計で 5,155 万円・予算執行率 95.3%と若干未消化となったが、概ね計画に沿った助成を実施した。

摘 要	金 額	備 考
1. 定款第 4 条(1)の事業	2,700 万円	内視鏡医学研究に関する研究助成 研究助成金(A) 100 万円×2 名 研究助成金(B) 50 万円×38 名 多施設共同研究助成 第 1 年次 100 万円×2 名 第 2 年次 100 万円×2 名 第 3 年次 100 万円×2 名
2. 定款第 4 条(2)の事業	200 万円	内視鏡医学研究に功績のあった者に対する顕彰 顕彰金 50 万円×4 名
3. 定款第 4 条(3)の事業	240 万円	内視鏡医学に関する研究会の振興に対する助成 研究会助成 8 件 (前年度 7 件)
4. 定款第 4 条(4)の事業	950 万円	内視鏡医学研究のため来日する海外研究医に対する助成 海外研究医受け入れ助成 24 件 (前年度 21 件) インドネシア 6 名、タイ 4 名、ロシア 3 名、シンガポール・ベトナム・台湾 各 2 名、中国・ガブワタン・カンボジア・マレーシア・ブラジル 各 1 名
5. 定款第 4 条(5)の事業	480 万円	内視鏡医学研究のため国際学会に参加する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外派遣助成 19 件 (前年 23 件) 消化器分野 DDW : 7 名、UEGW : 3 名、 泌尿器分野 WCE:3 名、EAU : 1 名 外科分野 ACS : 1 名、EAES:3 名 耳鼻科分野 AAO : 1 名
6. 定款第 4 条(6)の事業	200 万円	海外に短期で留学する研究医に対する助成 内視鏡医学研究医海外短期留学助成 4 件(前年 2 件) トロント小児病院(加)・シブール大学病院(米)・パリ第 7 大学(仏)・Brigham and Women's Hospital(米)
7. その他	385 万円	助成事業に関連する会議費 選考委員会及び贈呈式等開催費用
合 計	5,155 万円	